

1 経緯

- 本県では、2016年10月に策定した「手話言語・障害者コミュニケーション条例」に基づき、障害の特性に応じたコミュニケーション手段の利用促進を図っている。
- 2019年度は、コミュニケーションに支援が必要な方が、災害時の避難所で、円滑にコミュニケーションを図ることができるよう、文字やイラストを用いて、情報の伝達や意思表示などを行うコミュニケーション支援ボードの活用などのセミナーを開催した。
- 2020年度は、避難所のほか、日常生活においても活用できるよう、コミュニケーション支援ボードを取り入れたコミュニケーション支援アプリの開発に取り組んだ。
- アプリの開発は、2020年7月に情報科学部、教育福祉学部等を有する県立大学に委託。愛知県障害者施策審議会専門部会（9月、10月、11月書面開催）において審議いただくとともに、11月からは、障害の当事者や意思疎通支援者に実際に使用していただき、改良を重ねながら制作を進め、完成にいたった。

2 アプリの概要

○場面設定と利用者の想定

場面	利用者	
避難所	聴覚障害・知的障害・発達障害のある方、高齢で聞こえにくい方 (以下、障害等の当事者)	避難所運営者など
病院・薬局		医療スタッフ・窓口職員など
スーパー・コンビニ		店員・レジスタッフなど
交通機関		駅員・運転手など

○避難所での使用例

障害等の当事者	避難所運営者
文字やイラストを指し示して、以下のことを伝えることができる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほしいもの</li> <li>・したいこと・してほしいこと</li> <li>・しりたいこと</li> <li>・体調（熱がある、気分が悪い、痛い等）など</li> </ul>	文字やイラストを指し示して、以下の事項の聞き取りをスムーズに行える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・名前、生年月日などの基本情報</li> <li>・家族の状況</li> <li>・自宅の被害状況 など</li> </ul>

3 アプリ公開時期

2021年3月下旬（使い方動画を同時配信）

※感染拡大防止のためアプリ普及セミナーの実施から変更

4 アプリの周知

- ・県政記者クラブへ記者発表
- ・チラシ（使い方動画のQRコード添付）の送付  
送付先：市町村（福祉担当課、防災担当課）、特別支援学校、市町村社会福祉協議会、障害者関係団体、防災関係団体等
- ・令和2年度市町村防災担当課長会議（2月24日書面開催）において、市町村防災訓練での活用を依頼